

1. 科目名 (単位数)	重複障害・LD 等教育総論 (2 単位)	3. 科目番号	SSMP3354 SSMP3454 SNMP3454 SCMP3454 SBMP3454
2. 授業担当教員	上田 征三		
4. 授業形態	講義だけでなく様々な形態のグループ討議など、アクティブラーニングに基づいた履修者同士の実践的な学び合いを重視する。※可能であれば当事者または保護者による講話の機会を設ける。また重複障害については補講期間に関連施設の見学会なども予定している。	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	「障害児教育論」を履修済みであることが望ましい。		
7. 講義概要	2012 年の調査で改めて発達障害傾向の児童生徒が全体の 6.5%存在する、と明らかになった。その存在が年々クローズアップされる発達障害児だが、普通教育においては理解がなかなか進まない。また特別支援学校にもこの傾向がある児童生徒が増えつつあり、学校の枠を超えて発達障害児への対応が重視されている。発達障害に関わる基礎知識から指導技術までを網羅し、学校現場で彼らをどう支援し、その特性を伸ばしていくか、について実際のケースに触れながら具体的に指導していく。また障害の重度化・多様化が進む中で様々な障害を併せ持つ児童生徒も急増している。併せて重複障害についても説明していきたい。またスライドや画像、動画、独自の資料を多用し、グループディスカッションも活用する。本講座では、重度・重複障害、LD 等発達障害の特性を学び、個に応じた発達支援が行える指導実践力を兼ね備えた教員をめざす。		
8. 学習目標	1. 発達障害、重複障害について理解し、簡潔に述べることができる。 2. 学習障害 (LD) の特徴および支援のあり方を理解し、説明することができる。 3. 注意欠陥多動性障害 (ADHD) の特徴および支援のあり方を理解し、説明することができる。 4. 高機能自閉症、アスペルガー障害の特徴および支援のあり方を理解し、説明することができる。 5. 発達障害のある児童生徒へのコミュニケーション支援のあり方を学ぶ。 6. 発達障害のある児童生徒に対する教育の特質について理解し、説明することができる。 7. 特別支援学校現場における重度・重複障害児への対応について理解し、説明することができる。		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	1. 授業内容に沿った小テストを数回実施 (到達度評価) する。 2. 到達度に至るまで小テストを実施し、未達成者にはレポート (手書き) を課す。 3. 小テストや配付プリントが閉じられるようなノート兼用のバインダーを必ず準備する。 4. 予習時、授業時、復習時でアンダーラインを引き書き込みをするペンの色を使い分ける事を勧める。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 杉野学編著『特別支援教育概論』大学図書出版、2019。 【参考書】 杉野学・上田征三編著『初めて学ぶ知的障害児の理解と指導』大学図書出版、2020。 石部元雄・上田征三・高橋実・柳本雄次編著『よくわかる障害児教育』(第 4 版) ミネルヴァ書房、2020。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 発達障害、重複障害に関する特性を理解し、支援の在り方を説明できるか。 2. 発達障害、重複障害児に対する指導実践力がついたか。 ○評定の方法 [授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。] 1 授業への積極的参加 (総合点の 30%) 2 日常の学習状況 (総合点の 40%) 3 課題レポート (総合点の 30%)		
12. 受講生へのメッセージ	1. 授業中に携帯、私語、居眠り、飲食などをしないこと。 2. 教室を散らかしたり机を汚したりしないこと。 3. マナーを守り、大学生としての学習体制を確立すること。		
13. オフィスアワー	授業以外の時間 (予約をお願いすることもある) ※月曜日は都合がつきやすい。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	オリエンテーション&発達障害について —その定義、法制度、課題等—	事前学習	当日配布する資料をよく読み、発達障害の主な種類について知り、答えることができるようにノートにまとめる。
		事後学習	発達障害の全般的な情報について授業中に配布した穴埋め問題をやり直し再確認しノートにまとめる。
第 2 回	発達障害総論 —発達障害の基本的共通事項、通常の学級における特別の教育課程—	事前学習	前時に配布するスライド資料を読み ICF と発達障害の関係について知り、理解し、その要約をノートにまとめる。
		事後学習	各種の発達障害に共通する情報について授業中に実施した小テストをやり直ししながら再確認しノートにまとめる。
第 3 回	発達障害の原因、診断、治療等について —脳科学と医療的理解から—	事前学習	脳科学的見地から見る発達障害について資料を事前に配布するので、発生要因などについて読んで理解し、その要約をノートにまとめる。
		事後学習	脳科学について授業中に実施した小テストをやり直ししながら再確認しノートにまとめる。
第 4 回	LD の特徴とその支援 —障害特性と指導方法について—	事前学習	学習障害の六つの定義について資料を事前に配布するので、よく読んで理解し、その要約をノートにまとめ口頭で言えるようにしておく。
		事後学習	LD について授業中に実施した小テストをやり直ししながら再確認しノートにまとめる。
第 5 回	ADHD の特徴とその支援	事前学習	ADHD の診断基準について資料を事前に配布するので、その要約

	―障害特性と指導方法について―		をノートにまとめ口頭で簡単に説明できるようにしておく。
		事後学習	ADHD について授業中に実施した小テストをやり直しながら再確認しノートにまとめる。
第 6 回	高機能自閉症の特徴とその支援 ―障害特性と指導方法について―	事前学習	高機能自閉症について一般的に言われる「自閉症」との差異について資料を事前に配布するので、よく読んで、その要約をノートにまとめ説明できるようにする。
		事後学習	高機能自閉症について授業中に実施した小テストをやり直しながら再確認しノートにまとめる。
第 7 回	アスペルガー障害の特徴とその支援 ―障害特性と指導方法について―	事前学習	アスペルガー障害と自閉症との差異について資料を事前に配布するので、読んで、その要約をノートにまとめ説明できるようにしておく。
		事後学習	アスペルガー障害と自閉症との差異について再確認しノートにまとめる。
第 8 回	発達障害がある子どものアセスメント について―心理検査の種類と内容―	事前学習	アスペルガー障害について授業中に実施した小テストをやり直しながら再確認し、その要約をノートにまとめ確実に覚えておく。
		事後学習	「グレーゾーン」とは何かについて資料を事前に配布するので、読んでノートにまとめ説明できるようにしておく。
第 9 回	発達障害がある子供のコミュニケーションについて―人間関係づくり指導の基本―	事前学習	「グレーゾーン」と呼ばれるものについて授業中に実施した小テストをやり直しながら再確認しノートにまとめる。
		事後学習	前時に配布するスライド資料を読み、どのようなコミュニケーション方法があるか、ノートにまとめる。
第 1 0 回	発達障害がある子どもの保護者対応 ―保護者・家庭を支える―	事前学習	様々なコミュニケーション方法について授業中に実施した小テストをやり直し次時に提出する。
		事後学習	前時に配布する資料を読み発達障害がある子どもの特性に応じた指導の仕方、また、保護者の思いなどについて知り理解しノートにまとめる。
第 1 1 回	学校教育現場における諸課題 ―理解が進まない普通学校の課題―	事前学習	保護者の悩みについて授業中に実施した小テストをやり直しながら再確認し、その要約をノートにまとめる。
		事後学習	前時に配布するスライド資料を読み発達障害がある子どもへの理解が進まない普通学校の現状について知り、課題がどこにあるのかについて自らの考えを持つことができるようにしノートにまとめる。
第 1 2 回	重度・重複障害児の理解 ―その定義と実態について―	事前学習	発達障害児が小中学校等で理解されづらい点について授業中に実施した小テストをやり直しながら確実に理解し、その要約をノートにまとめる。
		事後学習	前時に重複・障害児に関する資料を配布するので、定義や実態について説明できるよう熟読しノートにまとめる。
第 1 3 回	重度・重複障害児の学校教育 ―重度・重複障害児の教育課程―	事前学習	重度・重複障害児について授業中に実施した小テストをやり直しながら再確認し、その要約をノートにまとめる。
		事後学習	前時に重複・障害児の教育課程に関する資料を配布するので、その内容や目的について説明できるよう熟読しノートにまとめる。
第 1 4 回	重度・重複障害に関する施設の理解	事前学習	重度・重複障害児の教育をうける意義について授業中に実施した小テストをやり直しながら確実に理解し、その要約をノートにまとめる。
		事後学習	重度・重複障害に関する施設の資料を読みノートにまとめる。
第 1 5 回	最新の教育事情について ―合理的配慮・ユニバーサル教育等 (通級や特別支援学級における教育課程―	事前学習	これまでの内容をノートにまとめる。
		事後学習	前時に配布するスライド資料を読み、現代の特別支援教育事情について理解するとともに、これからの発達障害児教育に何が必要かをノートに整理し語れるようにする。
期末試験			